

学校コード F127310108072

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

追手門学院大学 国際学部 国際学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 追手門学院
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

電話番号

（夜間）

e-mail

gakubusetchi@otemon.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 追手門学院

(2) 大学名

追手門学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒567-0013
大阪府茨木市太田東芝町1番1号
(〒567-8502)
(大阪府茨木市西安威2丁目1番15号)

- ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワハラ トシアキ) 川原 俊明 (平成23年7月)		
学長	(シンドウ マサヒロ) 真銅 正宏 (令和2年4月)		
学部長	(マツミヤ シンゴ) 松宮 新吾 (令和4年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
国際学部 国際学科 学士（国際学）	文学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係	4 年	150 人	5 人 3年次	610 人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	150 () []	0.94倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2,078 () [8]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2,018 () [8]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	817 () [8]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	141 () [7]			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		0.94				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	141	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[7]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
							(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	141		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[7]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	141人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{141} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

基礎教育科目	主體的學科目群	キャリア開発系科目	海外インターンシップ	2・3休	4																		兼1			
		国際現地研修	2・3休	4																				兼1		
			グローバルキャリア論	2・3前	2																		兼1			
			日本事情3	2前	2																		兼1			
			日本事情4	2後	2																		兼1			
			留学生キャリア形成演習1	3前	2																		兼3			
			留学生キャリア形成演習2	3後	2																		兼3			
			小計(36科目)	—	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10			
学科科目	専門基礎科目		English 1 (Reading & Writing)	1前	4			2		3																
			English 2 (Reading & Writing)	1後	4			2		3																
			English 3 (Communication)	2前	4			2		3																
			English 4 (Speech & Presentation)	2後	4			2		3																
			English 5 (English for Qualification)	3前	2			1																		
			English 6 (English for Conversation)	3後	2			1																		
			Advanced English 1 (プレゼンテーション演習)	1前	2			3		3																
			Advanced English 2 (クリティカルシンキング演習)	1後	2			3		3																
			Advanced English 3 (資格英語演習)	2前	2			2		1																
			Advanced English 4 (アカデミックライティング演習)	2後	2			2		1																
		小計(10科目)	—	20	8	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0		
		専門基幹科目		国際・地域文化関係論(基礎)	2・3前	2			1																	
			国際・地域交流論(基礎)	2・3後	2																				兼1	
			国際・地域言語表現論(基礎)	2・3後	2																				兼1	
			グローバルビジネス論I	2・3前	2																				兼1	
			グローバルビジネス論II	2・3前	2					1																
			グローバルビジネス論III	2・3後	2			1																		
			国際開発支援論I	2・3前	2			2																	兼1	
	国際開発支援論II		2・3前	2			2		1																	
	国際開発支援論III	2・3後	2			2		1																		
	小計(9科目)	—	0	18	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2			
	専門展開科目		英語学概論1	2・3・4前	2					1																
		英語学概論2	2・3・4後	2						1																
		英語学概説1	2・3・4前	2																				兼1		
		英語学概説2	2・3・4後	2																				兼1		
		英文学概論	2・3・4前	2																				兼1		
		米文学概論	2・3・4後	2			1																	兼1		
		イギリス歴史・文化講義	2・3・4前	2			2																	兼1		
		アメリカ歴史・文化講義	2・3・4後	2			2		1															兼1		
		グローバル論	2・3・4前	2			2			1														兼1		
		多文化マネジメント論	3・4前	2			2																	兼1		
		ICTとイノベーション	3・4後	2			2																	兼1		
		国際・地域文化関係論(展開)	2・3後	2			2			1																
		国際・地域交流論(展開)	3・4前	2			2		1																	
		国際・地域言語表現論(展開)	3・4前	2			2																	兼1		
	国際・地域文化関係論(特殊講義)	3・4後	2			2																	兼1			
	国際・地域交流論(特殊講義)	3・4後	2			2		1															兼1			
	国際・地域言語表現論(特殊講義)	3・4後	2			2																	兼1			

基礎教育科目	主體的學科目群	キャリア開発系科目	海外インターンシップ	2・3休	4																			兼1		
		国際現地研修	2・3休	4																					兼1	
			グローバルキャリア論	2・3前	2																			兼1		
			日本事情3	2前	2																			兼1		
			日本事情4	2後	2																			兼1		
			留学生キャリア形成演習1	3前	2																			兼3		
			留学生キャリア形成演習2	3後	2																			兼3		
			小計(36科目)	—	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼11		
学科科目	専門基礎科目		English 1 (Reading & Writing)	1前	4			2		3														兼1		
			English 2 (Reading & Writing)	1後	4			2		3																
			English 3 (Communication)	2前	4			2		3																
			English 4 (Speech & Presentation)	2後	4			2		3																
			English 5 (English for Qualification)	3前	2			2		1																
			English 6 (English for Conversation)	3後	2			2		1																
			Advanced English 1 (プレゼンテーション演習)	1前	2			2		3																
			Advanced English 2 (クリティカルシンキング演習)	1後	2			2		3																
			Advanced English 3 (資格英語演習)	2前	2			2		1																
			Advanced English 4 (アカデミックライティング演習)	2後	2			2		1																
		小計(10科目)	—	20	8	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
		専門基幹科目		国際・地域文化関係論(基礎)	2・3前	2			2		1															
			国際・地域交流論(基礎)	2・3後	2																				兼1	
			国際・地域言語表現論(基礎)	2・3後	2																				兼1	
			グローバルビジネス論I	2・3前	2																				兼1	
			グローバルビジネス論II	2・3前	2					1																
			グローバルビジネス論III	2・3後	2			2		1																
			国際開発支援論I	2・3前	2			2																	兼1	
	国際開発支援論II		2・3前	2			2		1																	
	国際開発支援論III	2・3後	2			2		1																		
	小計(9科目)	—	0	18	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2			
	専門展開科目		英語学概論1	2・3・4前	2					2														兼1		
		英語学概論2	2・3・4後	2						2														兼1		
		英語学概説1	2・3・4前	2						2														兼1		
		英語学概説2	2・3・4後	2						2														兼1		
		英文学概論	2・3・4前	2						2														兼1		
		米文学概論	2・3・4後	2			2		1															兼1		
		イギリス歴史・文化講義	2・3・4前	2			2			2														兼1		
		アメリカ歴史・文化講義	2・3・4後</																							

専門 展開科目	グローバルビジネス論IV	2・3・4後	2				1													
	グローバルビジネス論 特殊講義 I	2・3・4後	2			1														
	グローバルビジネス論 特殊講義 II	3・4前	2				1													
	国際開発支援論IV	2・3・4後	2			1														
	国際開発支援論特殊講義 I	2・3・4後	2			1														
	国際開発支援論特殊講義 II	3・4前	2				1													
	グローバル言語特殊講 義 I	3・4前	2																	
	グローバル言語特殊講 義 II	3・4後	2					1												
	グローバル言語特殊講 義 III	3・4前	2						1											
	グローバル言語特殊講 義 IV	3・4後	2							1										
	小計 (27科目)	—	0	54	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
留学・ フィールド ワーク	留学特別演習1	1前	1			1														
	留学特別演習2	1後	1			1														
	国際体験 I	1休	4			1														
	国際体験 II	2・3・4後	4			1														
	国際体験 III	2・3・4後	4			1														
小計 (5科目)	—	0	14	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
専門 関連科目	数理・DS・AI1	1前	2																	
	数理・DS・AI2	1後	2																	
	情報セキュリティ	2・3・4前	2																	
	テキスト解析	2・3・4前	2																	
	デジタルコンテンツ開 発演習	2・3・4後	2																	
	データベース演習	2・3・4後	2																	
小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
専門 演習科目	Global Seminar 1	1前	2			5	2	1												
	Global Seminar 2	1前	2			5	2	1												
	Global Studies 1	1後	2			5	1	1												
	Global Studies 2	1後	2			5	1	1												
	Global Studies 3	2前	2			5	1	1												
	Global Studies 4	2後	2			5	1	1												
	プロジェクト1	3前	2			5	2	1												
	プロジェクト2	3後	2			5	2	1												
	プロジェクト3	4前	2			4	2	2												
	プロジェクト4	4後	2			4	2	2												
	自主研究 I	2・3通	2			4	2	2												
自主研究 II	2・3通	2			4	2	2													
小計 (12科目)	—	16	8	0	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
留学 生科目	日本語演習1	1前	2																	
	日本語演習2	1後	2																	
	ビジネス日本語1	3前	2																	
	ビジネス日本語2	3後	2																	
小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
究専 科目 目研	卒業研究	4通	4			4	2	2												
	小計 (1科目)	—	0	4	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
合計 (186科目)	—	42	333	0	7	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼107	
卒業要件及び履修方法																				
必修科目42単位、基盤教育科目の選択科目から22単位以上、学教科目の選択科目から34単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:1年次前期18単位、1年次後期~4年次後期22単位) なお、専門基幹科目から4単位以上を選択必修とする。																				

専門 展開科目	グローバルビジネス論IV	2・3・4後	2				1													
	グローバルビジネス論 特殊講義 I	2・3・4後	2			1														
	グローバルビジネス論 特殊講義 II	3・4前	2				1													
	国際開発支援論IV	2・3・4後	2			1														
	国際開発支援論特殊講義 I	2・3・4後	2			1														
	国際開発支援論特殊講義 II	3・4前	2				1													
	グローバル言語特殊講 義 I	3・4前	2																	
	グローバル言語特殊講 義 II	3・4後	2					1												
	グローバル言語特殊講 義 III	3・4前	2						1											
	グローバル言語特殊講 義 IV	3・4後	2							1										
	小計 (27科目)	—	0	54	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7
留学・ フィールド ワーク	留学特別演習1	1前	1			1		1												
	留学特別演習2	1後	1			1														
	国際体験 I	1休	4			1														
	国際体験 II	2・3・4後	4			1														
	国際体験 III	2・3・4後	4			1														
小計 (5科目)	—	0	14	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
専門 関連科目	数理・DS・AI1	1前	2					1												
	数理・DS・AI2	1後	2					1												
	情報セキュリティ	2・3・4前	2																	
	テキスト解析	2・3・4前	2																	
	デジタルコンテンツ開 発演習	2・3・4後	2																	
	データベース演習	2・3・4後	2																	
小計 (6科目)	—	0	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
専門 演習科目	Global Seminar 1	1前	2			2		4												
	Global Seminar 2	1前	2			2		4												
	Global Studies 1	1後	2			2		4												
	Global Studies 2	1後	2			2		4												
	Global Studies 3	2前	2			5	1	1												
	Global Studies 4	2後	2			5	1	1												
	プロジェクト1	3前	2			5	2	1												
	プロジェクト2	3後	2			5	2	1												
	プロジェクト3	4前	2			4	2	2												
	プロジェクト4	4後	2			4	2	2												
	自主研究 I	2・3通	2			4	2	2												
自主研究 II	2・3通	2			4	2	2													
小計 (12科目)	—	16	8	0	7	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
留学 生科目	日本語演習1	1前	2																	
	日本語演習2	1後	2																	
	ビジネス日本語1	3前	2																	
	ビジネス日本語2	3後	2																	
小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
究専 科目 目研	卒業研究	4通	4			4	2	2												
	小計 (1科目)	—	0	4	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
合計 (186科目)	—	42	333	0	4	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼131	
卒業要件及び履修方法																				
必修科目42単位、基盤教育科目の選択科目から22単位以上、学教科目の選択科目から34単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:前期22単位、後期22単位) なお、専門基幹科目から4単位以上を選択必修とする。																				

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・「Online English Seminar1」：クラス数の減少に伴い、兼任・兼任教員を「兼6」から「兼4」に変更
- ・「Online English Seminar2」：クラス数の減少に伴い、兼任・兼任教員を「兼6」から「兼4」に変更
- ・「Online English Seminar3」：クラス数の減少に伴い、兼任・兼任教員を「兼6」から「兼3」に変更
- ・「Online English Seminar4」：クラス数の減少に伴い、兼任・兼任教員を「兼6」から「兼3」に変更
- ・「ドイツ語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼3」に変更
- ・「ドイツ語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼3」に変更
- ・「フランス語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼4」に変更
- ・「フランス語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼4」に変更
- ・「知の探究」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼3」から「兼9」に変更
- ・「未来課題」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼2」に変更
- ・「L&Sゼミ」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼5」に変更
- ・「芸術学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼4」から「兼5」に変更
- ・「日本文学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼3」から「兼5」に変更
- ・「西洋文学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼4」から「兼7」に変更
- ・「言語学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼3」に変更
- ・「日本史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼4」に変更
- ・「アジア・オセアニア史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼4」から「兼5」に変更
- ・「西洋史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼3」に変更
- ・「民俗学」：教員間の調整により、兼任・兼任教員を「兼5」から「兼4」に変更
- ・「法学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼6」に変更
- ・「日本国憲法」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼3」に変更
- ・「国際関係論」：教員間の調整により、兼任・兼任教員を「兼4」から「兼3」に変更
- ・「経営学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼4」に変更
- ・「社会・経済思想」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼2」に変更
- ・「社会学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼4」に変更
- ・「もの科学」：教員間の調整により、兼任・兼任教員を「兼3」から「兼2」に変更
- ・「自己との対話」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼2」に変更
- ・「追手門アイデンティティ」：履修登録者数に基づくクラス数の減少に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼1」に変更
- ・「ファンリテーション入門」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い、兼任・兼任教員を「兼2」から「兼3」に変更
- ・「日本事情1」：教員間の調整により、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼2」に変更
- ・「日本事情2」：教員間の調整により、兼任・兼任教員を「兼1」から「兼2」に変更
- ・「English 1 (Reading & Writing)」：開講クラス増のため、兼任・兼任教員を「兼0」から「兼1」に変更
- ・「Advanced English1 (プレゼンテーション演習)」：開講クラス数減のため、専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・「Advanced English2 (クリティカルシンキング演習)」：開講クラス数減のため、専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・「英語学概論1」：就任辞退により、専任教員等の配置「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任教員を「兼0」から「兼1」に変更
- ・「英語学概論2」：就任辞退により、専任教員等の配置「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任教員を「兼0」から「兼1」に変更
- ・「留学特別演習1」：専任教員の就任辞退により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・「留学特別演習2」：専任教員の就任辞退により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・「国際体験I」：専任教員の就任辞退により、の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・「数理・DS・AI1」「数理・DS・AI2」：開講クラス数増のため、専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・「Global Seminar1」：開講クラス数減のため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授2」に、「准教授2」から「准教授4」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・「Global Seminar2」：開講クラス数減のため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授2」に、「准教授2」から「准教授4」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・「Global Studies1」：開講クラス数減のため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授4」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・「Global Studies2」：開講クラス数減のため、専任教員等の配置を「教授5」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授4」に、「講師1」から「講師0」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (記当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば令和元年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	168 科目	0 科目	186 科目	18 科目 []	168 科目 []	0 科目 []	186 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ネイチャーアクティビティ2	1	1			新型コロナウイルスの影響により未開講。代替措置無し。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」…「ネイチャーアクティビティ2」の未開講については、コロナ禍による時限的な影響が大きいため、令和5年度以降に開講することに不安要素はない。
「学生への周知方法」…開講目処がたち次第、学生ポータルサイトを通じ翌年度（以降）に開講する旨を周知する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{186} = \boxed{0.53}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	茨木総持等キャンパスと 運動場用地のある茨木安 威キャンパスまでは 2km(スクールバスで約8 分) 茨木安威キャンパスにお いて学内再整備として校 舎敷地及び運動場用地の 見直しを行い、一部をそ の他に変更したため(4)		
	校舎敷地	78,139 m ² 96,535 m²	0 m ²	0 m ²	78,139 m ² 96,535 m²			
	運動場用地	13,837 m ² 14,673 m²	14,955 m ²	0 m ²	28,792 m ² 29,628 m²			
	小 計	91,976 m ² 111,208 m²	14,955 m ²	0 m ²	106,931 m ² 126,163 m²			
	そ の 他	63,556 m ² 44,324 m²	0 m ²	0 m ²	63,556 m ² 44,324 m²			
	合 計	155,532 m ²	14,955 m ²	0 m ²	170,487 m ²			
(2) 校 舎	専 用	112,573 m ² 112,584 m² (69,335 m ²) (-69,346 m²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	112,573 m ² 112,584 m² (69,335 m ²) (-69,346 m²)	老朽化のため茨木安威 キャンパスの温室を取り 壊したため(4)		
	共用							
(3) 教 室 等	講 義 室	118 室 20 室	演 習 室 33 室 138 室	実験実習室 27 室 116 室	情報処理学習施設 7 室 (補助職員 5 人)	語学学習施設 1 室 3 室 (補助職員 5 人)	教室等の用途の見直しを 行ったため(4)	
	専任教員研究室	新設学部等の名称 国際学部国際学科			室 数 (例) 1 6 1 5 室			(例) 令和4年4月 専任教員1名を新規 採用のため(4)
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 142,070冊 〔38,680冊〕 学術雑誌 1,372冊 〔473冊〕 電子ジャーナル 7,936冊 〔4,130冊〕 視聴覚資料 7,924冊 〔1,6097,924冊〕 機械・器具は大学全体の点数 学術雑誌：記事の除籍・廃棄 処理を行った。なお、記事に ついては多くの研究機関で電 子書籍化され、該当大学図書 館HP、リポジトリ等で閲覧 可となっていることから、本 学図書館に冊子体がなくても 支障が発生しない。(4)
	国際学部 国際学科	38,720 [21,130] (38,253 [21,108]) (38,270 [21,050])	131 [71] 437 [61] (131 [71]) (437 [61])	15 [15] (15 [15])	685 (677) (681)	19,372 10,852 (19,372) (10,852)	0 (0)	
	計	38,720 [21,130] (38,253 [21,108]) (38,270 [21,050])	131 [71] 437 [61] (131 [71]) (437 [61])	15 [15] (15 [15])	685 (677) (681)	19,372 10,852 (19,372) (10,852)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			図書館3F,4Fの用途を講 義・演習室から書庫に変 更したため(4)	
	4,600 m ² 4,268 m²	636 席 647 席		514,824 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,321 m ²	テニスコート アーチェリー場			トレーニングセンター 多目的練習場(学生会センター1F)			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設年度の設備購入費につ いては、国際教養学部国際教 養学科からの転用及び必要備品 を最適な価格で調達したため (4)
	教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	2,312千円 536千円	1,003千円 468千円	1,874千円	
	共同研究費等	35,793千円 34,500千円	34,500千円	設備購入費	1,082千円 331千円	171千円 331千円	1,324千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,195千円	第2年次 1,195千円	第3年次 1,195千円	第4年次 1,195千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	追手門学院大学						学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
文学部	4	180	3年次 人 5	180	-	1.08	1.08	-	令和4	大阪府茨木市太田東芝町1番1号	
人文学科	4	180	3年次 5	180	学士(文学)	1.08	1.08	-	令和4		
国際学部	4	150	3年次 5	150	-	0.94	0.94	-	令和4	同上	
国際学科	4	150	3年次 5	150	学士(国際学)	0.94	0.94	-	令和4		
国際教養学部	4	-	-	1,010	-	-	-	-	平成19	同上	
国際教養学科	4	-	-	460	学士(国際教養学)	-	-	-	平成19		令和4年度より学生募集停止
国際日本学科	4	-	-	550	学士(国際教養学)	-	-	-	平成19		令和4年度より学生募集停止
心理学部	4	220	3年次 10	900	-	1.09	1.14	-	平成18	1年次：大阪府茨木市太田東芝町1番1号 2-4年次：大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
心理学科	4	220	3年次 10	900	学士(心理学)	1.09	1.14	-	平成18		
社会学部	4	350	3年次 7	1,294	-	1.03	1.02	-	平成18	同上	
社会学科	4	350	3年次 7	1,294	学士(社会学)	1.03	1.02	令和2	平成18		令和2年度入学定員増(120人)
経済学部	4	400	3年次 10	1,620	学士(経済学)	1.04	1.09	-	昭和41	同上	
経済学科	4	400	3年次 10	1,620	学士(経済学)	1.04	1.09	-	昭和41		
経営学部	4	443	3年次 7	1,786	-	1.04	1.05	-	平成7	同上	
経営学科	4	443	3年次 7	1,786	学士(経営学)	1.04	1.05	-	平成7		
マーケティング学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成17	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	令和元年度より学生募集停止
地域創造学部	4	230	-	840	-	1.06	1.04	-	平成27	大阪府茨木市太田東芝町1番1号	
地域創造学科	4	230	-	840	学士(地域創造学)	1.06	1.04	令和2	平成27		令和2年度入学定員増(80人)
大学全体	-	1,973	44	7,780	-	1.05	1.05	-	-	-	

大学の名称	追手門学院大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
博士前期課程											
経営・経済研究科	2	15	-	30	-	1.06	0.93	-	平成30		
経営・経済専攻	2	15	-	30	修士 (経営学) 修士 (大学経営) 修士 (経済学) 修士 (地域政策)	1.06	0.93	-	平成30	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
心理学研究科	2	25	-	50	-	0.50	0.60	-	平成20		
心理学専攻	2	25	-	50	修士 (心理学)	0.50	0.60	-	平成20	同上	
修士課程											
現代社会文化研究科	2	10	-	20	-	0.85	0.90	-	昭和48		
現代社会学専攻	2	5	-	10	修士 (社会学) 修士 (地域創造学)	1.40	1.40	-	昭和50	同上	
国際教養学専攻	2	5	-	10	修士 (国際コミュニケーション学) 修士 (文学)	0.30	0.40	-	昭和59	同上	
大学院 博士前期課程・ 修士課程全体	-	50	-	100	-	0.74	0.76	-	-	-	
博士後期課程											
経営・経済研究科	3	3	-	9	-	0.22	0.33	-	平成30		
経営・経済専攻	3	3	-	9	博士 (経営学) 博士 (経済学) 博士 (地域政策)	0.22	0.33	-	平成30	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
心理学研究科	3	3	-	9	-	0.11	0.00	-	平成29		
心理学専攻	3	3	-	9	博士 (心理学)	0.11	0.00	-	平成29	同上	
大学院 博士後期課程全体	-	6	-	18	-	0.16	0.16	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令 和 3 年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年度前期においては対面授業を中心としつつも、授業の特性に合わせてオンラインを活用しながら実施している。</p> <p>令和4年度後期については、オンラインでの対応を行うか、通常どおり教室等での対面授業を実施するか、その時の情勢等によって判断する予定である。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 国際学部におけるFaculty Development(以下「FD」)活動を推進するため、FD推進委員会(以下「FD委員会」)を置く。国際学部FD委員会主導のもと、国際学部FD会議等を開催し、FD活動の活発化や、教育の質向上に向けた組織的な研究及び研修活動に取り組んでいるが、全学的な基本的方針の策定にあたっては、教育支援センターを設置してこれを推進している。
- ・ 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための組織的な取組であるスタッフ・ディベロップメント(以下「SD」という。)を推進し、SDの取組方針及びその方策を企画検討するため、スタッフ・ディベロップメント委員会(以下「SD委員会」)を設置。

添付資料1：国際学部FD推進委員会規程

添付資料2：追手門学院大学教育支援センター規程

添付資料3：追手門学院スタッフ・ディベロップメント規程

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD推進委員会：5月以降、各学期2回（年間4回）程度で実施予定。

SD委員会：年1回程度の開催を見込んでおり、学長も構成員としている。

c 委員会の審議事項等

FD推進委員会：

- ・ 授業の内容及び方法の改善し、向上を図るための組織的な研究及び研修を推進。

SD委員会：

- ・ SD活動の企画、立案、実施及び評価・検証に関すること。
- ・ 複数の所属で実施されるSD及びFDとの連絡調整に関すること。
- ・ その他SDに関し委員長が必要と認めた事項に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

FD研修：

- ・大学として、新任教員研修を実施した。また、教育支援センターと連携し、授業方法改善のための全体研修や、教員相互の授業参観や授業コンサルテーション等の個別研修の実施を予定している。
- ・実施内容はカリキュラム改善（教育目標の設定等）、授業改善（授業コンサルティング等）、DX推進（LMSの授業での効果的な活用）のための支援、教員相互の能力向上を目的とした研修の企画と実施からなる。なお、授業コンサルティングは授業改善を目的として、教育支援センター担当教員が教員及び学部からのニーズに応じてきめ細かな支援・助言を行う。

SD研修：

- ・全体研修を実施する予定である。なお、テーマとしては「パワーハラスメント防止に関すること」「情報セキュリティに関すること」を予定している。

b 実施方法

FD研修：

- ・テーマを決めて学部教員間で議論をし、教育改善の意識を高めるとともに教育改善に繋げる。
- ・教育支援センターによるシラバスの作成支援を実施する。
- ・授業担当教員と教育支援センター担当教員による共同での改善策を模索する授業コンサルテーションを実施する。
- ・教育支援センター担当教員による学部教員一人ひとりの特性把握の支援、個別ヒアリングおよび個別コンサルテーションを実施する。
- ・FDに関する講演会・セミナーを開催する。
- ・授業方法改善のための研修は全教員を対象に、教員相互の授業参観、授業コンサルテーション等の研修は新任教員を対象に、それぞれ実施する予定である。

SD研修：

- ・オンデマンド配信で実施予定。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修：今後、各学期2回（年間4回）程度で開催予定。

SD研修：年1回実施。令和3年度は教員の83%が視聴している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修及びSD研修：令和4年度は5月1日現在で未実施であるが、内容を通して得た知見やノウハウを授業改善に活用していく予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・有。1回目：5月16日～29日、2回目：7月4日～18日

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・LMS（WebClass）を通じて公開する。また、教員による講評もLMSを通じて記入される。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>国際学部国際学科は、既設の国際教養学部国際教養学科を改組転換し、令和4年4月に開設されたところである。国際学部国際学科においては、「これからのグローバル化とローカル化の進展、異文化交流の発展に対応できる人材を養成する」という設置の趣旨を実現するために、英語をコミュニケーションツールとして、複雑化する国際的諸問題を、グローバルな視点から把握・理解し、専門的知識やスキルを活用して問題解決を図り、国際社会に貢献することができる能力を涵養することができるカリキュラムを構築し、教育・研究活動を推進しているところである。</p> <p>授業計画については、教員の未就任による一部変更を除いて、概ね計画どおりにスタートすることができている。なお、初年度の入学者数は、COVID-19のパンデミックによる影響を受けながらも、入学定員150名に対し141名（94%）と、ほぼ定員を満たすことができたものと考えられる。</p> <p>以上のことから、国際学部国際学科の設置計画は達成できたものとする。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和4年8月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>・自己点検・評価報告をまとめ大学ホームページ上に公開予定（令和4年8月上旬を予定）</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）</p> <p>・令和6年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>《 a で「有」の場合 》</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="text" value="公表後3ヶ月以降"/>]</p> <p>c 公表方法 [<input type="text" value="ウェブサイトへの掲載"/> ・ その他 ()]</p> <p>《 a で公表「無」の場合 》</p> <p>d 公表しない理由 []</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。